

みらい設計 ガイドブック

2015 早稲田大学キャリアセンター



DESIGN
YOUR
FUTURE

「やってみたい!」こと、始めよう

学びを深めたい

世界を知りたい

社会と関わりたい

仲間をつくりたい

必ず見つける「成長の場所」

学内プログラム一覧

卒業生インタビュー

早稲田で描いた私の未来図

2015 年、 未来をつくる旅、 始まる。

大学で過ごす4年間は、未来を切り拓くための大切な時間。
キャンパスには、自由に学び、体験できる世界が広がり、
多様な価値観をもつ大切な仲間との出会いが待っています。
興味・関心のあることをとことん追求し、新しいことにも
果敢に挑戦することで、視野を広げていってください。
早稲田大学は、あなたが夢中になって自分を磨ける
成長の場所をいくらかでも用意しています。
何を選び、どんな学生生活を過ごすかは、あなた次第。
自ら考え、行動することが、自分らしい未来をつくります。
2015 年、さあ、いよいよ、
あなただけの未来をつくる旅が、始まります——。

見つけよう「成長の場所」

キャリアセンター長 佐々木裕康

キャリアセンターは、早大生の「みらい設計」をサポートしています。「みらい設計」とは何でしょうか。例えば、数年後に早稲田を卒業して社会に出る時の自分を想像してみてください。どのような職業に就いているか、なぜその職業を選んだか、そしてどのような方法でその職業に就くことができたのか。

そうすると、今から自分が何をすべきかが自然に見えてくると思います。学生生活で何もしなかった人がその職業に就けるでしょうか。専門知識を得ていない人、何かに打ち込んだ経験がない人、何も熱く語れない人、自分のことしか考えない人、がその職業に就けるでしょうか。答えは言うまでもありません。

「みらい設計」とは、学生生活を充実させ、自分を磨いていくことで、自分の未来を切り拓くことです。在学中は、学部の勉強やさまざまな課外活動を通じて大いに学問的成長、人間的成長を遂げてください。早稲田大学には、みなさんが成長するために役立つ「場所」がたくさんあります。この『みらい設計ガイドブック』は、みなさんがそのような「成長の場所」に行けるように構成されています。さあ、未来を切り拓く第一歩を踏み出しましょう。

未来への第一歩はキャンパスから

「やってみたい!」こと、始めよう

早稲田大学のキャンパスには

あなたのみらい設計に役立つ成長の場所が

たくさん広がっています。

まずは「やってみたい!」ことから始めましょう。

学びを深めたい

P6

大学での学びは自ら主体的に取り組むもの。早稲田では学び方も多種多様です。学ぶ力を身につけたい、学びの幅をさらに広げたい、体験を通じて学びたい——。あなたの知的好奇心を刺激するプログラムを見つけ、自由に挑戦してみましょう!

世界を知りたい

P8

グローバル化の進む早稲田には、あなたが世界を知るチャンスが広がっています。世界各地への留学プログラムをはじめ、キャンパス内でも気軽に異文化交流を体験できます。多様な価値観や文化を肌で感じ、未知なる世界に触れてみましょう!

社会と関わりたい

P10

社会と関わることは、あなたの視野を広げ、新たな可能性に気づく絶好の機会です。早稲田では、実際の現場で学べるボランティア活動やインターンシップはもちろん、大学運営に参画できるプログラムも充実。積極的に社会へ踏み出しましょう!

仲間をつくりたい

P12

学生生活をより豊かなものにしてくれるのが、本音で語り合える仲間です。早稲田で出会う大切な仲間たちは、あなたにとって一生の宝になることでしょう。部活動やサークル活動から多彩なプログラムまで、思い切って飛び込んでみましょう!

学びを深めたい

大学での学びは自ら主体的に取り組むもの。早稲田では学び方も多種多様です。
学ぶ力を身につけたい、学びの幅をさらに広げたい、体験を通じて学びたい——。
あなたの知的好奇心を刺激するプログラムを見つけ、自由に挑戦してみましょう！

WASEDA 式アカデミックリテラシー

あらゆる学問の礎となる 5 分野

専攻分野をはじめ、大学での学びをより深めるための基礎力を身につける科目群です。全学オープン科目として、論文やレポート提出に求められる技能とともに文章作成の思考を鍛える「アカデミックライティング」、数学的な論理的思考力を養う「数学」、文理問わず学問研究に必要な統計手法を学ぶ「統計」、コンピュータや情報の活用能力を高める「情報」、読む・書く・話す・聞くといった 4 技能に加えて英語での思考力や英語で協働する力の獲得を目指す「英語」の 5 分野が用意されています。

グローバルエデュケーションセンター **MAP→A**

おもな科目

- ・ Tutorial English
- ・ 数学基礎シリーズ
- ・ 学術的文章の作成
- ・ 統計リテラシー
- ・ 情報科学の基礎



全学共通副専攻

第二の専攻分野を究める

自分の専攻分野に関わらず、興味・関心の高いテーマを追求できる制度。時代や社会の変化に即した幅広い領域から 29 の副専攻を提供しています。いずれの専攻も早稲田ならではの叡智を結集し、学問のおもしろさを体感できるものばかり。専攻分野の学びを深めるため、応用領域を学ぶため、あるいは第二の強みをつくるべく新たな分野に挑戦するためなど、活用法はさまざまです。各専攻にはコア科目と選択科目が指定され、必要な単位を修得して申請すれば卒業時に修了証明書が発行されます。

グローバルエデュケーションセンター **MAP→A**

他大学提供科目／学部学生交流制度（国内交換留学）

学びの幅が広がる他大学の授業

早稲田では全国の大学と単位互換を行っています。「f-Campus」という単位互換制度を結んでいる学習院大学、学習院女子大学、日本女子大学、立教大学などの近隣の大学であれば、同じ日に早稲田と他大学双方の授業を受けることも可能です。遠方の大学では、夏休みなどを利用した集中講義を開講。また、同志社大学とは 1 年間または半年間の国内交換留学を実施し、毎年 10 名ほどの早大生が参加しています。各大学の特長を生かした専門分野に触れることで、学びの幅が広がるでしょう。

グローバルエデュケーションセンター **MAP→A**

アカデミックライティング個別指導

学術的文章の作成をサポート

論文やレポートなどの書き方について、アカデミックライティングの専門知識を持つ大学院生のチューターによる 1 回 45 分の個別指導。日英両言語の文章作成に対応しています。指導の際に重視するのは「書いている途中の思考過程」。文章の作成過程で助言を得ることで、文章力は飛躍的に向上します。完成稿の見直しや、まだ書き始めている構想の段階でも、相談することが可能です。書き手の成長に主眼をおいた丁寧な個別指導で、アカデミックな文章を作成する力を高めましょう。

ライティング・センター **MAP→B**

My Vision Program

社会で役立つ実践力を強化

「論理的思考力」「問題解決能力」「コミュニケーション能力」といった社会で必要とされる力を養うためのプログラム。講義だけでなく、グループごとのワークショップ、ディスカッション、プレゼンテーションなどさまざまなスタイルを取り入れ、卒業後に社会で役立つ実践的な講座が豊富に用意されています。問題解決やロジカルシンキング、ロジカルライティングの技法を学ぶ講座のほか、グローバル社会で活躍するために知っておきたい、日本古来の文化を学ぶ教養講座にも注目です。

グローバルエデュケーションセンター **MAP→A**

留学準備講座

充実した留学生活のために

留学を検討している学生や留学が決まっている学生を対象に、充実した留学生活を送るための、さまざまなプログラムを実施しています。TOEFL のスピーキングとライティングの演習を中心に行う TOEFL iBT 対策プログラム（通学／オンデマンド）、国内で留学の体験ができる留学体験合宿プログラム（1 日コース、2 泊 3 日など）、エッセイや討論の方法など現地の大学で生かせるアカデミックスキルに特化したアカデミック英語講座など、各々の課題や目的に応じて選ぶことができます。

留学センター **MAP→E**

「体験の言語化」シリーズ科目

自らの体験を言葉で表現

「自分の思考を言語化し、他者に伝える力」を養う少人数制の参加型講座です。ボランティア、インターンシップ、留学など、学生生活のなかで得た自らの体験について、体験そのものではなく、体験を通じて考えたことに焦点をあてて振り返り、自らの言葉にして発表します。自分が感じたことの背景にはどのような社会課題があるのか、それらを深めることが、自己の問題意識や価値観の形成につながります。

ボランティアセンター（WAVOC） **MAP→G**
グローバルエデュケーションセンター **MAP→A**

エクステンションセンター学生支援講座

進路選択に役立つ講座が充実

生涯学習機関として広く社会に門戸を開いているエクステンションセンターでは、早大生向けに資格取得や将来の進路選択に役立つさまざまな講座を用意しています。TOEIC、行政書士、公認会計士など、基礎からじっくり学ぶことができる資格試験対策講座のほか、法律基本科目を基礎から学ぶ法曹講座、学習初期から総仕上げまでをカバーする公務員試験対策講座なども開講。授業や課外活動と両立しやすいプログラムを提供しています。

エクステンションセンター **MAP→H**

早稲田アスリートプログラム（WAP）

文武両道の学生アスリートへ

競技スポーツセンターでは、体育各部に所属する全ての部員を対象に、高いレベルでの文武両道を体現する真の学生アスリートとして成長できる環境を整えています。オリジナルテキストによるオンデマンド講義の配信や講演会の開催を通じて、学生アスリートとしての心構えや必要な知識を学ぶ「アスリートとしての教養プログラム」のほか、「ボランティア・地域貢献プログラム」などを提供。学業と部活動を両立し、社会性と豊かな人間性を備えた人格形成を目指します。

競技スポーツセンター **MAP→P**

ICC 学生スタッフリーダー

異文化交流活動の牽引役

ICC の異文化交流活動において、中心的な存在として活躍するのが「学生スタッフリーダー」です。現役学生ならではの視点と発想を生かして、早大生のニーズに合った異文化交流イベントを企画立案。多くの関係者をまとめるリーダーとして、さまざまな活動に取り組みます。さらに、ICC の広報活動や運営業務などを幅広く担当するほか、海外の大学を訪問し、意見・情報交換を通じて異文化知見を高める海外研修に参加することも。社会で役立つ貴重な経験を積むことができます。

国際コミュニティセンター（ICC） **MAP→F**

図書館ボランティアスタッフ LIVS

活用しやすい図書館を目指して

情報収集と学びの場として学生生活に欠かせない図書館をより活用しやすくするため、学生目線でサービスの向上に取り組むボランティアスタッフが「LIVS」です。これまでに実施した企画には、図書館探索イベント「脱出ゲーム」、文献検索ワークショップ「レポートマスター」など趣向を凝らしたものが多数。活動を通じて、図書館利用や資料探索について自らもより深く学べるだけでなく、図書館職員との協働によって、タスク管理やプレゼンテーション技法など、社会で役立つ力も身につきます。

図書館 **MAP→D**

ものづくり体験

アイデアをカタチに転換する

ホンモノの発想力や実践力を身につけるには、試行錯誤を繰り返し、アイデアを実現する「ものづくり」の経験が有効です。充実した機器装置と広い作業スペースを備え、気軽に相談できる技術スタッフが常駐する「ものづくり工房」は、『小さなやってみたい』から『本格的なものづくり』まで、自分の手でものづくりに挑戦できる環境です。学部の垣根を越えて学生たちが集い、多様な視点に触れられるのも魅力のひとつ。自らのアイデアをカタチに転換するプロセスを体験してみましょう。

WASEDA ものづくり工房 **MAP→C**



**作品を作り上げる
楽しさを実感**
創造理工学部 4 年：上田博明さん

ものづくり工房のプログラムに参加し、自分のアイデアをカタチにすることに挑戦しました。試行錯誤の連続でしたが、新しい技術を学び、工房スタッフに助言をいただきながら、粘り強く作品製作に取り組んだことで、技術の幅を広げることができました。何より、自分の作りたいものを自分の力で作り上げることが楽しかったです。

世界を知りたい

グローバル化の進む早稲田には、あなたが世界を知るチャンスが広がっています。
世界各地への留学プログラムをはじめ、キャンパス内でも気軽に異文化交流を体験できます。
多様な価値観や文化を肌で感じ、未知なる世界に触れてみましょう！

海外留学プログラム（長期）

多様な価値観に出会うチャンス

400を超える海外の協定大学から留学先を選び、半年から1年間にわたり海外で学ぶことができます。出発1年前に学内選考で留学先が決定し、その後、準備を進めて渡航します。その種類は、交換留学生として留学先の大学の通常科目を履修できるもの、語学プログラムの受講から始めて、徐々に通常カリキュラムにシフトしていくもの、留学先大学の学位を取得できるものなど、バリエーション豊か。長期間の海外生活を通じて異文化を肌で感じ、グローバル社会を生き抜く確固たる力を養います。

留学センター **MAP→E**

プログラムの種類

- ・Double Degree Programs
- ・Exchange Programs
 - Regular academic
 - Language focused
- ・Customized Programs
 - Regular academic
 - Language focused



海外留学プログラム（短期）

海外で多彩な学びを体験

海外の協定大学やその附属語学機関で学べる1～7週間の短期留学プログラム。短期間のため参加しやすく、語学研修や文化体験をメインに、現地企業へのインターンシップ、アカデミックな専門学習、フィールドワークなどの体験型学習など、多彩な学び方が用意されているのが特長のひとつ。理工系、英語教授法、新入生導入向けなど分野や対象を絞ったプログラムも充実しています。短期間ながら、自分に合った方法で効果的に異文化体験を得ることができます。

留学センター **MAP→E**

ホッネ交流キャンプ

ホッネで語り合う先の相互理解

中国や韓国と日本は、文化的・地理的な距離が近く、古くから交流があり、密な関係を築いてきました。一方で、領土・歴史などデリケートな問題を多く抱えていることから、友好と摩擦が常に表裏一体となっています。同じ早稲田で学ぶ日本、中国、韓国の学生が集まる2泊3日のキャンプでは、アクティビティやディスカッションを通じて、お互いの国や文化について普段感じていることをぶつけ合い、相互理解を深めます。ともに東アジアの未来を見つめ、思いきりホッネで語り合える絶好の機会です。

国際コミュニティセンター（ICC） **MAP→F**



本音で話せる
仲間ができました
国際教養学部 4年：ムン ダゾルさん

日中韓出身の早大生によるキャンプは、文字通り「ホッネ」で語り合える3日間でした。お互いの全く異なる考え方に驚き、自分の正直な感情を言葉にする体験は刺激的で、熱い討論後は古くからの親友のような親近感を覚えました。キャンプで出会った仲間たちとは、現在も定期的に勉強会を開催し、本音トークを続けています。

ランゲージ&カルチャー・エクスチェンジ・プログラム

母国の言語と文化を教え合う

国籍の異なる学生がペアあるいは3人以上のグループとなり、お互いの国の言語や文化を教え合う相互学習プログラムです。パートナーとなる学生は、語学力や年齢などを考慮してICCがマッチング。その後はパートナー同士でスケジュールを合わせ、交流を深めます。「教える」時間と「教えられる」時間が均等になるように調整し、考えや価値観を尊重し合うのが基本的なマナー。言語だけでなく、背景となる文化について生の声を聞くことができるのも魅力です。

国際コミュニティセンター（ICC） **MAP→F**

外国語ランチ

ランチタイムの異文化交流

ICCでは、昼休みに集まって、新しい仲間との外国語会話を楽しむことができるランチ・イベントを開催しています。外国語を学習中だけでなく、か話す機会がない、という日本人学生も、たまには母語で思い切り話したい、という外国人留学生も、自分のランチを持ってラウンジに集まりましょう。事前登録は不要、参加費も無料なので、気軽に参加することができます。言語だけでなく、さまざまな国の文化や新しい考え方に触れられるまたとない異文化交流のチャンスです。

国際コミュニティセンター（ICC） **MAP→F**

おもなプログラム

- ・英語
- ・中国語
- ・朝鮮語
- ・スペイン語
- ・フランス語 など



外国語科目

20を超える多彩な言語科目

英語はもちろん、20を超える多彩な言語を学ぶことができます。日本では学ぶ機会の少ない言語科目も数多く開講し、外国語大学にも匹敵する充実したラインナップが魅力です。ほとんどの言語が入門からスタートし、段階的に学ぶことが可能。特に中国語は、レベル別に少人数で学ぶ「チュートリアル中国語」も開講しています。また、言語だけでなく、その言語圏の文化や歴史を同時に学ぶことで、より深い理解が得られることも特長のひとつです。

グローバルエデュケーションセンター **MAP→A**

ノーボーダー・キャンプ

ボーダーレスな異文化理解合宿

スキー・スノーボードを楽しみながら、ボーダーレスな異文化理解アクティビティを行う2泊3日の合宿です。最大の特長は「ノーボーダールール」。参加者は国籍、学部、学年、年齢などの属性情報を一切公開してはいけません。本名ではなく、それぞれがつけた「キャンプネーム」を名乗って、日本語と英語で交流します。これにより、ありがちな先入観が排除され、深いつき合いが生まれていきます。仲間との強い結束感が得られるICCの定番イベントです。

国際コミュニティセンター（ICC） **MAP→F**

ICCトーク・セッション

時代の先駆者の話から学ぶ

グローバル化が進む現代の社会では、グローバルとローカル、両方の視点を持つことが必要だと言われています。ICCでは、学内外から講師を招き、グローバル・ローカルの両面からテーマを設定して公開講演会を定期的に開催しています。登壇するのは、ボランティア活動家、グローバル企業のCEO、社会起業家、一国の大臣など実にさまざま。グローバルに、ローカルに活躍する先駆者たちの話から、新たな気づきが得られ、視野を広げるきっかけになるはずです。

国際コミュニティセンター（ICC） **MAP→F**

グローバル・リーダーシップ・フェローズ・プログラム

4年間の少人数カリキュラム

今後の国際社会を牽引するリーダーシップを実践的に身につける4年間のプログラムです。新入生を中心に約15名の派遣学生（フェローズ）を選抜し、半年間の導入教育で英語やアジア・西洋の歴史・文化などを学んだ後、2年次秋から1年間、コロンビア大学やワシントン大学など、提携する米国名門大学に留学します。帰国後は米国からの留学生とともに「日米共同ゼミ」や「グローバル・リーダーシップ・フェローズ・フォーラム」に参加。4年次に英語による修士論文に挑みます。

留学センター **MAP→E**

にほんごベラベラクラブ

日本語会話を通じた異文化交流

日本語を勉強中の外国人学生が、楽しみながら日本語会話の実践を行う「にほんごベラベラクラブ」は、1ヶ月単位で決まった曜日・時間に開催。サポーターとして参加する日本語を母語とする学生がアクティビティやゲームを事前に考え、活動中の会話を楽しく円滑に進められるように促します。ただし、日本語だから簡単、というわけではありません。異文化交流には、言語能力とは別のコミュニケーション能力が必要になるからです。日本語会話によって異文化交流の本質を学ぶことができます。

国際コミュニティセンター（ICC） **MAP→F**

RA（レジデント・アシスタント）

多文化共同生活のリーダー役

国際学生寮WISHでは、日本全国・世界各地から集った学生がともに学び、生活しています（定員872人）。「RA」とは、寮生活を送る学生が安心して快適に生活できるよう、日々の生活を支援する学生リーダーのこと。その役割は、寮生の相談役、大学と寮とのパイプ役、イベントの企画運営など多岐にわたります。多様なバックグラウンド、異なる価値観をもった寮生たちと日々向き合う活動を通じて、グローバルな視野を広げ、人間的に大きく成長することができるでしょう。

レジデンスセンター **MAP→N**

社会と関わりたい

社会と関わることは、あなたの視野を広げ、新たな可能性に気づく絶好の機会です。

早稲田では、実際の現場で学べるボランティア活動やインターンシップはもちろん、大学運営に参画できるプログラムも充実。積極的に社会へ踏み出しましょう！

プロフェッショナルズ・ワークショップ

実践型産学連携プロジェクト

プロフェッショナルズ（企業・自治体・団体）が実際に抱える問題について、グループワークなどを通じて問題解決に取り組み、解決策を提案する実践型の産学連携プロジェクトです。表面的な就業体験だけでなく、社会の現場に触れることで、社会人としてのコミュニケーション能力や、チームで協力し合いながら最後まで考え抜く力を身につけることを目的としています。また、プロフェッショナルズに対して、直接自分のアイデアを投げかけることができる、またとない機会でもあります。

早稲田ポータルオフィス **MAP→①**

おもな設定テーマ

- ・地域活性化
- ・企業ブランド向上
- ・広報戦略
- ・ダイバーシティ
- ・健康医療



WAVOC 公認プロジェクト

世界の課題と向き合う

教育、環境、人権、農業、平和構築などの多岐にわたる分野で、学生が主体となって活動する「ボランティアプロジェクト」。国内外に広がるフィールドで多くの学生がそれぞれの社会の課題と向き合っています。現在は27のプロジェクトが進行中。キャンパスを飛び出して実際の現場に出かけることで、これまで学んだ知識をよりいっそう深め、多様な視点を養うことができます。年に1回、各プロジェクトに参加する学生が中心となって「ボランティアフェア」も開催しています。

ボランティアセンター（WAVOC） **MAP→⑥**

おもなプロジェクト

- ・エココミュニティ・タンザニア
- ・学生NPO農楽塾
- ・ボルネオプロジェクト
- ・DVほっとプロジェクト
- ・日本ルワンダ学生会議
- ・早稲田大学気仙沼チーム



WAVOC スタディツアー

ボランティアの現場を訪れる

WAVOCでは、キャンパスを飛び出し、国内外のボランティアの現場に出かける「スタディツアー」を多数実施しています。国際協力や環境問題、社会問題など、現場を実際に見ることで、これまで机上で学んできた知識が深まり、多角的に物事を考えられるようになります。また、現地の人や活動に従事する人との交流を通じて、多様な価値観を理解する異文化理解能力や、協調性を身につけることもできます。世界観を広げ、自分を一回り大きくする旅へ、出かけてみましょう。

ボランティアセンター（WAVOC） **MAP→⑥**

災害・復興等支援ボランティア活動

災害の現状から学ぶ

近年、全国各地で、地震、集中豪雨、竜巻、大雪などの自然災害による被害が増加しています。WAVOCでは、地域の大学や地元住民と連携しながら、災害・復興の活動にあたる支援ボランティアを募集し、自らの意思で手を挙げた学生たちを派遣しています。現地では、自然災害の現状を自分の目で見て考え、自分自身の問題として向き合うことで、地域の人々に寄り添います。こうした経験は次なる活動や学びの原動力になることでしょう。

ボランティアセンター（WAVOC） **MAP→⑥**

インターンシップ・プログラム

働くイメージを具体化

学生生活とは異なる環境に身をおき、自分の力を試すことで、働くことや仕事に対する漠然としたイメージを具体的なものにできるのがインターンシップの特長。早稲田では、キャリアセンターが実施する「公認プログラムWIN」や行政機関・企業などとの「提携プログラム」のほか、各学部が専攻分野の特色に合わせて実施するものや留学センターによる海外でのインターンシップも充実。目的や興味・関心に応じて選択できます。

キャリアセンター **MAP→①**

留学センター **MAP→⑤**

tsunagaru プログラム

社会と“つながる” 第一歩

キャンパスを離れて、地域で活躍している人や中小企業の経営者に会いに行く、体験型の短期プログラムです。「chiikiru ～地域のオモシロい人に会おう～」や「mochimasu ～社長のカバンモチをしてみよう～」というテーマで、複数のプログラムから自分に合ったものを選びます。一般的なインターンシップと異なるのは、目的が業務体験ではなく、会いに行く人の価値観や生き方に触れるということ。「他者とは何か、自分とは何者か」という視点から、新たな気づきが得られるはずです。

社会連携推進室 **MAP→③**

文化推進学生アドバイザー

学生による早稲田文化の再生

かつては、学生たちが創り上げた「早稲田文化」がたくさんありました。早稲田文化を再生することは、新しい学生文化を創り上げることです。そのためには、主体性、課題発見力、実行力をもって自らの可能性を切り拓くことが不可欠。そこから、早稲田文化が創造されるのです。文化推進学生アドバイザーは、早稲田文化を新たな視点から主体的に考察し、文化イベントを企画・立案・実施しています。活動を通じてアドバイザー自身が成長することにより、早稲田文化の再生につながるはずです。

文化企画課 **MAP→④**

教員就職支援

教員就職のための支援拠点

教員を目指す学生に対して、教員就職のためのサポートを行う拠点が教員就職指導室です。公立・私立学校の教員採用試験の情報を提供し、受験のための論文指導や模擬授業対策、面接対策指導などを実施しています。指導室には早稲田の卒業生で校長経験のある「教員就職アドバイザー」が常駐。何でも気軽に相談できる存在として、教員志望者の心強い味方となっています。また、現職の校長を招き、最新の教員採用試験の情報提供や具体的な指導を行う「教員就職指導会」も実施しています。

教員就職指導室 **MAP→④**

ビジネススタートアップセミナー

起業に必須の知識を学ぶ

各界で活躍する専門家や起業家、早稲田で教鞭を執る教授陣を講師に迎え、起業家に必要なスピリットや実務のノウハウを学ぶセミナー。テーマは「起業家精神」「税務・財務」「ビジネスプラン」「マーケティング」などバラエティ豊かで、年間を通じて参加すれば、起業や経営に必要な知識を幅広く学ぶことができます。講座の後は講師を交えた交流会も実施。起業家の生の話を聞けるだけでなく、起業の仲間やビジネスコンテストに参加するチームづくりの場にもなっています。

インキュベーション推進室 **MAP→④**

アウトリーチ・プログラム

留学生とペアで異文化理解授業

外国人学生と日本人学生がペアを組み、地域の小・中学校や高校などの教育現場を訪れて異文化理解の授業を行います。外国人学生の母国の文化紹介を中心とした授業案を作成する過程では、異なるバックグラウンドを持つ学生同士が互いに意見を出し合い、同じ目標に向かって協働体験を積むことによって、深い友情を育むことができるでしょう。教えることを通じて異文化理解を深められるだけでなく、児童や生徒との交流によって多くの学びや気づきが得られるプログラムです。

国際コミュニティセンター（ICC） **MAP→⑤**

キャンパスツアーガイド

早稲田の顔として魅力を発信

広く一般の方にも早稲田に親しんでもらおうと1989年にスタートしたキャンパスツアー。年間参加者は約15,000人にものぼり、日本で最古にして最大規模のキャンパスツアーです。このガイドを担当するのは厳しい研修によって早稲田に関する知識とガイド技術を身につけた早大生。それぞれが創意工夫を凝らし、学生ならではのエピソードを交えた個性豊かな案内が好評です。社会性と責任感が求められるとともに、早稲田の顔として魅力を発信できることが高いモチベーションとなっています。

広報課 **MAP→⑤**



わかりやすく伝える
力が身につきました
社会科学部 4年：酒井希葉さん

ツアーの参加者は高校生、その教師や保護者、卒業生などさまざまです。お客さまがどんな情報を知りたいのかを自分なりに研究して、全ての方が楽しめるツアーを目指しています。ガイドの経験を通じて、わかりやすく伝える力が身につきました。自分の言葉で大好きな早稲田の魅力を発信できることにやりがいを感じています。

仲間をつくりたい

学生生活をより豊かなものにしてくれるのが、本音で語り合える仲間です。

早稲田で出会う大切な仲間たちは、あなたにとって一生の宝になることでしょう。

部活動やサークル活動から多彩なプログラムまで、思い切って飛び込んでみましょう！

こうはいナビ

新入生応援プロジェクト

学生が主体となって新入生を応援するプロジェクトで、新入生の悩みや不安を解消できるように、学生生活をさまざまな面からサポートします。例えば、科目登録相談会では学生アドバイザーとして参加し、科目登録のポイントをアドバイス。新学期の授業開始時期には、キャンパス内に立って教室案内を行います。また、「なびLog」では学生生活で知っておきたい情報をブログ形式で発信。イベント情報からおすめのランチスポットまで、日々の生活に役立つ情報が満載です。

早稲田ポータルオフィス **MAP→①**

おもな活動内容

- ・大学情報ブログ
- ・キャンパス内での教室案内
- ・新入生への科目登録相談
- ・受験生支援の企画協力
- ・学習サポート企画



fumidasu ワークショップ

語り合うことで“一歩踏み出す”

「学生生活、このままでいいのかな？」——このプログラムは、自分の学生生活に少し疑問を感じてモヤモヤしている学生同士が、学部や学年の枠を越えて気軽に集まり、お互いの気持ちを言葉にしてフラットに語り合うワークショップです。自分以外にもモヤモヤを抱えている仲間たちがいることを実感し、交流を通じて個と個の関係を築くことで、他者を理解するとともに自分自身を見つめ直す機会となります。現状を抜け出し、はじめの一歩を踏み出すきっかけになることでしょう。

社会連携推進室 **MAP→M**



人生の新たな選択肢に気づきました

文学部 2年：達藤聡平さん

「卒業後は都内の大企業で働いて、家庭を築き、養うのが当然。でも、そんなわかりきった人生はなんだかつまらない気がする」。

そんな風にモヤモヤしていた私は、ワークショップに参加したことで人生の新たな選択肢に気づきました。今は「就活のための学生生活」ではなく「好きなことを探し、打ち込む学生生活」を送っています。

ICC イベントサポーター

異文化交流に関わるボランティア

ICCが行う異文化交流イベントに、ボランティアとして関われるのが「ICC イベントサポーター」。留学生歓迎イベントや、日本と各国の文化を紹介するイベントなど、ICC学生スタッフリーダーとともに、企画段階からイベント当日の司会進行まで、さまざまな役割を担うことができます。さらに、自らの企画をICCに持ちこみ、イベントを実現できるのも、サポーターの魅力。多様な価値観が交錯する異文化交流をつくる体験によって、新たな視点から異文化理解を深めることができます。

国際コミュニティセンター（ICC） **MAP→F**

学生留学アドバイザー

留学経験者による情報発信

留学センターのプログラムで中長期の海外留学を経験した早大生で構成される学生ボランティアで、留学希望者を対象としたイベント企画と情報発信を定期的に行っています。留学経験者と交流できるイベントや、留学経験を生かした就職活動に関するイベントの企画、留学体験談が豊富に掲載されたフリーペーパーの発行が活動のおもな柱。自らの経験をふまえて、留学の不安や疑問を解消できる機会を提供し、これから留学する学生たちが安心して飛び立てるよう後押しをしています。

留学センター **MAP→E**

障がい学生支援活動

支援を通じて得られる気づき

障がい学生支援室では、障がいのある学生がほかの学生と同等に学ぶことができるよう、支援ボランティア学生の募集・養成をしています。教室への移動の介助をしたり、授業中の先生の話や学生の発言を手書きやパソコンで文字にして聴覚障がい学生に伝えたりと、活動内容はさまざま。学内をバリアフリーの視点で見て回る「バリアフリーマップ」の作成や、よりよい障がい学生支援のあり方について、他大学の障がい学生や支援学生とともに考える交流会の企画・運営などにも関わります。

障がい学生支援室 **MAP→O**

夢中になれることが見つかるセミナー

学生生活の過ごし方を考える

多彩な学内プログラムが用意されている早稲田だからこそ、ときには何に打ち込むべきか迷ってしまうこともあります。「私も最初は何をしたらいいかわからなかった」という先輩たちが、どんな学生生活を過ごし、どんな「夢中になれること」を見つけたのか。先輩の体験談からヒントを得て、自分自身の学生生活をどのように過ごしていくかを考えていきます。セミナーの終わりには、学内プログラムの紹介もあり、行動を起こすきっかけづくりにもなることでしょう。

キャリアセンター **MAP→T**

体育祭

スポーツを通じて交流を深める

秋の一大スポーツイベントが「体育祭」。フットサル、卓球、ソフトボールなど各キャンパスで約15種目が実施されます。なかでも、東京都内の各大学を歩いて巡る「Tokyoハイク」は人気のウォーキング種目です。サークルやゼミなどの団体で参加できるだけでなく、種目によっては他大生や一般の方も参加可能。スポーツを通じて日常の学生生活では味わえないさまざまな交流を体験できます。また、公募で集まった学生スタッフは、イベントの広報や運営にも携わるチャンスがあります。

学生生活課 **MAP→Q**

部活動（体育各部）

スポーツで豊かな人間性を育む

早稲田には44の体育各部があり、110余年の歴史のなかで多くの優秀なアスリートを輩出してきました。伝統の早慶戦をはじめ、一戦一戦が全国のスポーツファンの心をとらえています。体育各部では、競技力だけでなく、社会性の向上にも着目して指導を行っています。身体教養の獲得、スポーツの実践と技術習得、チームワークやルールの順守、対人コミュニケーション能力などを向上させ、豊かな人間性を育みます。OB・OGとの絆が強いのも魅力のひとつでしょう。

競技スポーツセンター **MAP→P**

WASEDA ものづくり工房・利用推進プロジェクト

ものづくりの楽しさを広める

ものづくり工房の効果的な活用方法（仕組み）を考え、実行する学生参加型のプロジェクトです。このような仕組みづくり自体もものづくりのひとつと考え、その機会を提供しています。プロジェクトのテーマは、学生ニーズをふまえた工房の環境整備に加えて、学生が自発的にものづくりに取り組みたくなるような企画をカタチにして、工房の利用推進につなげる。ものづくりの知識や経験は問いません。「ちょっとやってみようかな」と思えるものづくりの機会を、学生目線で実現しています。

WASEDAものづくり工房 **MAP→G**

学生キャリア・アドバイザー

自らの体験を後輩たちに役立てる

自らの意思と行動で卒業後の進路を決定する就職活動。社会に飛び出す瞬間のさまざまな体験は、これからの人生における貴重な財産となります。その体験を後輩たちのために役立てたい、という思いをカタチにしたものが「学生キャリア・アドバイザー」制度。キャリアセンターを訪れる就職活動中の後輩たちに、面接の具体的な対策から気分転換の方法まで、自身の体験をふまえてアドバイスを送ります。また、OB・OGの協力を得て、就活生応援イベントの企画・運営も行います。

キャリアセンター **MAP→T**

サークル活動

多彩なサークルで仲間づくり

大学公認のサークル数は現在およそ570。公認以外のものを合わせるとその数は1,000を超え、分野も文化、芸術、スポーツなど「早稲田にないサークルはない」と言われるほど。同じ出身地の学生で構成される「地方学生の会」も個性あふれる活動を行っています。日本最大級の学生イベント「早稲田祭」には数多くのサークルが参加し、活動成果をアピールします。サークルで出会った仲間とともに活動に打ち込むことも、学生生活をより豊かにする大切な要素です。

学生生活課 **MAP→Q**



数多くの「気づき」を得ています

政治経済学部 3年：塩川翔平さん

環境を通じて社会と多くのつながりを持てると考え、環境サークル「環境ロドリゲス」に入りました。サークル活動は「気づき」の連続です。

例えば、エコ商品開発を行った際には、消費者だけでなく生産者・仲介者の視点に触れることで、数多くの「気づき」を得ました。それらを日々の授業や学生生活に生かしています。

みらい設計をサポートする

キャリアセンターを利用しよう



「キャリアセンター」と聞くと、就職活動のイメージが強いかもしれませんが、就職活動支援だけでなく、みなさんの「みらい設計」をサポートする役割を担っています。

「みらい設計」とは、早稲田に広がる成長の場所を積極的に活用し、充実した学生生活を送ることによって、自分自身を磨いていこうという考え方。その積み重ねが、将来の進路選択につながるのです。

キャリアセンターは、みなさんに自分らしい早大生ライフを謳歌してもらうための、いわば「ガイド役」。イベントの開催や個別相談の実施など、多方面からみなさんの学生生活を支えます。1年生のうちから、キャリアセンターを気軽に利用してみましょう。

キャリアセンターの情報はここから！

ホームページ

キャリアセンターのサポート内容をはじめ、イベントやインターンシップ情報など、最新情報はホームページでお伝えします。

メールマガジン

最新のイベント情報などを月2回のペースで希望者に配信しています。①学籍番号、②氏名、③Waseda-netのメールアドレス、④件名に「メールマガジン配信希望」の4点を明記したメールをcareer@list.waseda.jpへ送信すれば登録完了です。

WASEDA Mobile

早稲田情報が満載のスマートフォン用アプリ。iOS版はApp Storeより、Android版はGoogle Playより、無償でダウンロードできます。キャリアセンターのイベント情報は「イベント」→「キャリアカレンダー」をタップしてチェックできます。

キャリアセンター

戸山キャンパス 学生会館3階 **MAP**➡**T**

<http://www.waseda.jp/career/>

学生生活や進路について考えてみる

みらい探しイベント

学生生活に物足りなさを感じる、どんな進路を見つけたらいいのかわからない、など漠然とした不安や心配があるなら、キャリアセンターの「みらい探しイベント」に足を運んでみましょう。進路が決まった先

輩たちの低学年時代の体験談や、卒業生たちの現在の活躍の様子に触れることで、自分のみらい設計のヒントが得られるはず。イベントを見逃してしまった場合は、Course N@viでも視聴することができます。



夢になれることが見つかるセミナー

「私も最初は何をしたらいいかわからなかった」という先輩たちは、どのように夢中になれることを見つけたのか。先輩の体験談からヒントを得て、充実した学生生活の過ごし方を考えていきます。



進路を考えるセミナー

若手の卒業生をゲストに招き、学生時代にどんな活動に打ち込み、その体験がどのように進路選択につながったのかをお聞きします。先輩たちとの交流を通じて、自分らしい進路を考えてみましょう。



仕事を考えるセミナー

早稲田の卒業生を中心に、さまざまな業界で活躍する社会人をゲストに招き、仕事内容やそのやりがいなどを話していただきます。気軽に質問できるカジュアルトークでは、生の声を聞くことができます。

働くことのイメージをつかむ

インターンシップ

インターンシップとは、夏休みなどを利用して、企業や官公庁、非営利団体などの職場で就業体験を行うもの。実際の現場で自分の力を試すことで、働くことのイメージをつかみ、その後の学生生活における目標を明確にすることができます。キャリアセンターではインターンシップデスクを設置し、「公認プログラムWIN」や「提携プログラム」の実施や、就業体験を全学オープン科目の単位に認定するための手続きを行っています。



公認プログラムWIN

大学の推薦が必要な業種や、個人での応募が難しい職種での就業を体験できるプログラム。就業前後に講義を組み合わせることで、より深い学びや気づきが得られるのが特長です。行政、国際協力、マスメディア、ビジネスの4コースが設置され、ビジネスコースには1年生から参加できるプログラムもあります。

インターンシップの情報はここから！

インターンシップデスク

ホームページでは、インターンシッププログラムの募集告知やガイダンスなどの情報を随時発信。先輩の体験談も参考になります。
<http://www.waseda.jp/career/internship/>

「インターンシップの手引き」

参加手順、単位取得の方法などがまとめられたガイドブック。キャリアセンターや学部事務所、ホールオフィスで配布しています。

学生生活の悩みも相談できる

進路・就職相談

キャリアセンター内の専用ブースで、個別の進路・就職相談に応じています。進路や就職活動の具体的な相談だけでなく、「やりたいことが見つからない」といった学生生活の悩み相談もOK。人に話をすることで気持ち軽くなることもありますので、ぜひ利用してみてください。キャリアセンターのスタッフがみなさんを全力でサポートします。

相談受付時間 平日 9:00～17:00
土曜 9:00～16:00

※相談時間は1回40分以内です。

※授業休止期間中の相談受付時間は、キャリアセンターホームページで確認してください。

学生生活の充実、夢実現を応援します

キャリアアドバイザー：阿部真也さん



学生生活を充実させ、さらにはあなたの夢を実現させるためにキャリアセンターを利用してませんか。輝いた人生を送るためには、自分と向き合うことが大切です。それは「これまで何を大切に生きてきたのか」「自身の強みは何か」「どんな働き方をしたいのか」に気づき、自分らしい進路を見つけることにつながります。いつでも気軽に相談してください。

みらい設計に役立つ情報が充実

情報提供

キャリアセンターでは、学生生活や将来の進路を考えるうえで役立つ図書や資料をたくさん用意しています。開室時間内は自由に閲覧できるほか、さらにじっくり読みたい図書は一度に3冊まで借りることも可能です。また、学内プログラムのパンフレットやチラシも充実。各プログラムの特長を見比べながら、自分に合ったものを探すことができます。



キャリアセンターを活用しています

学生生活のお得な情報を見つけました

教育学部4年：佐藤あやめさん

私が初めてキャリアセンターを利用したのは1年生の春でした。図書や資料がたくさんあって、自分の将来を考えているという満足感が得られました。

3年生の夏には、キャリアセンターの掲示板で見つけた国会議員事務所のインターンシップを体験。秋には「仕事を考えるセミナー」に参加し、社会で活躍する先輩から仕事について具体的な話を聞くことができました。キャリアセンターは、学生生活を充実させるお得な情報を見つけられる場所です。





藤森さんが描くみらい設計

「3本柱」を大切にしていきたい

仕事と家庭とサッカーは、私が大切にしている3つの柱です。これから生まれてくる子どもたちと、いつか親子でサッカーを楽しめるようになれば最高です。最近思うのは、たくさんの人のおかげで今の自分があるということ。今度は自分が誰かの役に立ち、どこにいても社会人として胸が張れる人になりたいと思います。

サントリーホールディングス株式会社

藤森 渉さん
2008年 教育学部卒業

01 メーカー

「スポーツで築いた 人的ネットワークは 私の一生の財産です」

飲料を中心に多角的な事業を展開するサントリーのなかで、ビール・ワイン・ウイスキーなどの国内販売会社に配属され、営業を担当する藤森渉さん。出張や移動が多いアクティブな毎日を、学生時代にサッカーで培った体力と精神力が、しっかりと支えている。

「物心つく頃からボールを蹴っていましたね。早稲田に入学すると、迷わずア式蹴球部（サッカー部）に入部しました。スターティングメンバーとして国立競技場の大舞台に立ち、全日本選手権で優勝したことが、大きな自信になりました」

卒業と同時に、同期のうち5人がプロの道に進んでJリーガーとなった。ほかにもサッカー関係の仕事に就く仲間が多かったが、藤森さんはより広い活躍の場を求めて一般企業に就職することを選んだ。サッカーによって鍛えられた人間性を発揮し、ビジネスの世界でも自分の力を試してみたいと考えたからだ。

「学生時代、私は最初からスターティングメンバーだったわけではありません。むしろ思うようにいかないことの方が多かった。それでも卑屈になったり投げやりになったりせず、努力を続けて目標を達成することを、サッカーを通じて学びました。おかげで精神的に強くなれたし、大きな試合を何度も経験したことで、緊張する局面にも落ち着いて臨めるようになりました。こうしたことは社会に出てからも、間違いなくプラスになっています」

ビジネスパーソンとして着実にキャリアを積む一方、藤森さんは関東サッカーリーグ所属の社会人フットボールクラブ「エリースFC東京」で、今も週末を中心にサッカーを満喫している。

さまざまな業種・職種の人々が集まるクラブチームには、異業種交流会のような側面があり、ボールを追ってともに汗を流すうち、自然と幅広い人的ネットワークが形成されていく。「サッカーがコミュニケーションツールになっています」と話す藤森さんは、公私ともに充実した日々を送っている。

02 総合商社

「自ら行動を起こせば 多くのチャンスに 出会えるはずです」

「大学での4年間は意外と短いものです。だからこそ、学生時代にしかできないことをやりたい、という気持ちが強くありました」

総合商社に入社後、船舶海洋部に所属し、中国の企業を相手に新造船の営業を担当している清水正太郎さんは、自らの学生時代について、「あれもこれも、興味をもったことは全部やってきました」と笑顔で振り返る。まず、入学時に学生寮へ入ることを選び、寮での充実した集団生活を満喫。それと同時に、「大学の部活動以外ではなかなか経験できない」との思いから、航空部へ入部し、入学からの2年間はグライダーに熱中した。

学生寮で多くの中国人留学生と生活をともにするうち、もっとコミュニケーションを取りたいという自然な気持ちから中国語の勉強を始めると、成長著しい中国への興味も次第に高まっていった。そして、3年生の秋から1年間、中国へ留学することを決めた。

留学先の北京では新たな出会いが待っていた。現地に赴任中の校友（早稲田の卒業生）が集まる「北京稲門会」は、留学中の早大生にも門戸を開いており、清水さんは毎月のように参加。多くの先輩たちと交流するなかで、大きなやりがいをもって海外で働く姿を間近に見ることができたのだ。

「仕事も遊びもアクティブにこなし、さまざまな場面でリーダーシップを発揮する姿に強い刺激を受けました。商社で働いている方が多く、その時の出会いが商社への就職を考え始めたきっかけです」

一方、かけがえのない仲間を得たプログラムがプロフェッショナルズ・ワークショップ。夏休みの間、昼夜を問わず徹底的に議論を重ね、チームでひとつの成果を出す難しさと醍醐味を体感した。熱い思いを共有した仲間たちとの交流は、今も変わらず続いている。

「すべてのことが今につながっています」と話す清水さん。「やってみたいと思う気持ちを大切に、とにかく行動あるのみです。きっと多くのチャンスに出会えるはずです」と語ってくれた。



清水さんが描くみらい設計

上海を舞台に活躍したい

北京で学んだ中国語と学部の海商法ゼミで学んだ知識を生かして、将来的には中国を舞台に船舶の世界で活躍したいと思っています。中国の船舶取引は上海が中心地で、中国全土には大小2,000あまりの造船所が軒を連ねています。現在はたまに出張で行く程度ですが、3年後くらいまでには駐在に出て、上海を舞台に大きな成果を挙げたいと思います。

伊藤忠商事株式会社

清水正太郎さん
2012年 法学部卒業

早稲田で見つけた成長の場所

体育各部

競技スポーツセンター → P13

藤森さんが在籍したア式蹴球部は、大学選手権優勝12回、天皇杯優勝4回などの輝かしい戦績を誇り、多くの日本代表選手を輩出している。また、近年は女子部の活躍も目覚ましい。44の体育各部が活動する早稲田では、高いレベルでの文武両道を体現する真の学生アスリート育成を目指し、2014年から「早稲田アスリートプログラム」を実施している。

早稲田で見つけた成長の場所

プロフェッショナルズ・ワークショップ

早稲田ポータルオフィスほか → P10

清水さんが参加したのは、ANA総合研究所のワークショップ。「愛媛県宇和島地域の活性化」をテーマに、学部も学年もさまざまな仲間たちと「産業活性の視点から観光振興の新たなプラン」を提案した。プロフェッショナルズ・ワークショップでは、そのほかにも教育や健康などをテーマとして、企業などが実際に抱えている問題の解決に挑戦できる。



全さんが描くみらい設計

日本・韓国・中国の共同体を

グローバル社員として採用されたため、いずれは国際部門に配属されるか、海外勤務となる予定です。仕事をがんばると同時に私が描いている夢は、日本・韓国・中国の共同体結成に役立つこと。三国はそれぞれ高いポテンシャルをもっているのに、他の地域にあるような経済共同体が存在しません。少しでも三国の協調に携わっていただけたらうれしいですね。

株式会社三井住友銀行

全 昭映さん

2014年 政治経済学部卒業

03 金融

「困難なことへの挑戦が将来につながる大きな力になります」

母国・韓国の外国語高等学校で学んでいた時に、早稲田への進学が決まった先輩から話を聞く機会があったという全昭映さん。「とても興味をひかれ、私も早稲田で学んでみたいと思い、留学を決意しました」。

外国学生入試を経て、政治経済学部に入學。高校時代に第二外国語として日本語を学んでいたものの、来日当初は言葉や生活の面で苦労することが多かったそう。日本人にとっては当たり前のことでも、自分にとっては不慣れなことばかり。でも、留学生だから親切にしてもらうのではなく、友人の一人として受け入れてもらおうと、自分からいろいろな活動に参加するようにしました。

全さんが選んだ活動のひとつは、早稲田を訪れる高校生などにキャンパス案内をしながら早稲田の魅力を伝えるキャンパスツアーガイド。海外からの来校者も多く、得意の英語力を生かす機会もあった。「この活動を通じて、たくさんの大切な友人ができました」。

さらに、北京大学とのダブルディグリー・プログラムを活用して1年間北京大学に留学し、国際関係について学んだ。

「現地の学生と同じクラスを履修していたのですが、一科目でも単位を落とすと学位取得ができませんから、大変なプレッシャーでした。留学仲間と徹夜で勉強したこともあります。そんな苦労の末にダブル・ディグリーを取得したことが、大きな自信につながっています。学生の時に困難なことにチャレンジすればするほど、将来の活力となるのではないのでしょうか」

就職先の三井住友銀行では法人営業を担当。顧客には台湾と取引のある会社もあり、中国語や中華圏に関する知識など、北京留学で学んだことが生かされているという。「社内には外国人社員が多く、上司も理解があって、とても恵まれた職場環境です。趣味でヴァイオリンを弾くので、社内のオーケストラにも参加してみたいですね」と微笑む全さん。公私ともに、挑戦の日々は続く。

早稲田で見つけた成長の場所

学生キャリア・アドバイザー

キャリアセンター → P13

全さんは、就職活動時にキャリアセンターを利用した経験から、就職先が決まると卒業までの間、学生キャリア・アドバイザー(SCA)の活動に参加した。気軽に相談できるSCAの存在は、就職活動に臨む後輩たちにとって、心強い味方となっている。また、キャリアセンターでは、日本での就職を希望する外国人学生向けのサポートも手厚く行っている。

04 IT(外資系企業)

「挑戦するおもしろさや多様性への理解を海外体験で学びました」

「大学生になるまでは、どちらかといえば保守的なタイプだったのです。予定や計画が変わったり、想定外のチャレンジを迫られたりするのが苦手でした」

玉木尚宏さんは、かつての自分をそう振り返る。その自分を変えてくれたのが、学生時代に経験した1年間のシアトル留学だった。

「留学先では、日本の日常をいったん離れ、授業もゼロから自分で選び直します。それまでの生活を丸ごとリセットするなかで、新しいことに挑戦する楽しさや、変化を怖れる必要はないということを学びました」

留学から戻った玉木さんは、何事に対しても、より前向きに取り組むようになっていた。ボランティアセンター(WAVOC)の活動に参加したことも、そのひとつだ。WAVOC公認プロジェクトとしてベトナムの小学校を支援する「DOORS―日越交流プロジェクト―」では、在学中に8回も現地を訪れ、ベトナムの友人もたくさんできた。

「実際に足を運んで現地を知り、そこに親しい人ができるから、もっともっと役に立ちたいと思う。ボランティア活動はそのことを実感する貴重な経験でした」

留学とボランティアの経験は、世界にはさまざまな価値観があることを教えてくれた。「特に多様性への理解が進み、物事に対する許容範囲が、自分のなかで大きく広がった」と玉木さんは話す。当初は国際協力の仕事を第一志望に考えていた就職活動においても、フィーリングが合う企業には業種を問わず積極的に応募することで許容範囲を広げ、最終的にGoogleへの就職を果たした。

「途上国への支援に関わりたいという思いは、今でもあります。いつかその夢を実現するつもりです。そのために、現在の仕事を通じてさらに成長したいと思っています」

すべては自分がどう捉え、どう生かすか。人生に無駄なことなどひとつもない。――経験から学んだ、玉木さんのモットーだ。



玉木さんが描くみらい設計

途上国支援に取り組みたい

Googleでは、熱意と能力さえあれば、自分で異動先の希望を出し、キャリアを切り拓いていくことができます。私自身は、海外とのプロジェクトを経験することで、英語力をもっと磨いていきたいと思っています。会社として、日本の非営利団体を支援する取り組みも行っていますので、将来的にはそうした方面で活動できればうれしいですね。

グーグル株式会社

玉木尚宏さん

2012年 国際教養学部卒業

早稲田で見つけた成長の場所

WAVOC公認プロジェクト

ボランティアセンター(WAVOC) → P10

玉木さんが参加した「DOORS―日越交流プロジェクト―」は、10年以上も続いているベトナムへの教育支援活動。東日本大震災に際しては、被災地支援ボランティアプロジェクトの学生リーダーを務めた。WAVOC公認プロジェクトでは、国内外に広がる現場で、地域住民と手を取り合いながら、学生が主体的に社会の課題と向き合っている。



岸田さんが描くみらい設計

世界に影響を与えるような仕事を

人事の分野でキャリアアップしていくうえで、海外も含めた現場での経験をきちんと積んで、事業の内容をよく理解した管理部門のスペシャリストになりたいと考えています。もっと大きな夢としては、会社の技術力を生かしたモノづくりを通じ、いつか世界の経済発展に影響を与えるような仕事にチャレンジしたいと思っています。

日揮株式会社

岸田一成さん

2011年 第一文学部卒業

05 建設

「知らないことに チャレンジして 誇れるものをもとう」

「世界を舞台に、雇用を生み出す仕事がしたい」と語る岸田一成さんは、世界各地に拠点をもつプラントエンジニアリング最大手、日揮の人事部で働いている。入社から4年の間に早くもサウジアラビアとインドネシアでの駐在を経験し、現在は採用担当として、多くの学生に日揮の魅力を知ってもらう仕事に打ち込んでいる。

岸田さんが国際的な仕事に就きたいと考えようになったきっかけは、アメリカ・ローレンス大学への留学だった。「中学・高校時代は部活動でテニスに熱中。大学入学後もテニスサークルで活動していましたが、何か別のことにも打ち込みたいという思いが次第に強くなり、初めて自分のレールから外れてみようと思った。1年間の留学中は学生寮に入り、ともに学ぶ学生たちと共同で生活。さらに、テニス部の合宿や試合にも参加し、交流の場を広げていったことで、英語力はもちろん、人間関係の広がりや新たな気づきなど、貴重な財産を得た。

「留学の経験から、世界が抱える問題や日本の良さをあらためて知り、いつか仕事を通じて世界に貢献したい、日本のために海外で働きたい、と考えるようになりました」

4年生の6月に帰国すると、「自分がアメリカで味わった充実感を、早稲田で学ぶ外国人留学生にも感じてもらいたい」との思いから、国際コミュニティセンター（ICC）の学生スタッフリーダーに応募。卒業までの1年半、異文化交流イベントの企画・運営に携わる活動を続けた。「ICCで学んだのは、問題意識をもって意見交換すること、ゼロから何かを作り上げるおもしろさ」という岸田さん。学生スタッフリーダーの経験から学び取った「常に疑問をもって物事に取り組む」姿勢は、今もしっかりと肝に銘じている。

「学生時代は、自分の知らないことにチャレンジして、ひとつでも人に誇れるものを身につけてほしい。のんびりしている時間はないですよ」と、最後に熱いエールを送ってくれた。

06 国際機関

「ワーキングホリデーと フィリピンでの経験が 今の私の原点です」

大間瑛利子さんは国際協力機構（JICA）の職員として、おもに発展途上国の経済発展や産業振興に関する支援に取り組んでいる。海外のJICA事務所の担当者や専門家チームとともに動かす案件は、常時10件前後にのぼるといふ。

「仕事をしていて特にうれしいのは、最初は受け身だった現地の人たちが、一緒にプロジェクトに取り組むうちに、どんどん主体的になってくることです。JICA主導のプロジェクトが、『彼ら自身のプロジェクト』になったなと感じるとき、心のなかでガッツポーズが出ます」

笑顔でそう語る大間さんは、学生時代に早稲田を1年間休学し、ワーキングホリデー制度を活用してカナダでの生活に挑戦した。英語を使って仕事をし、異文化のなかで暮らす楽しさを身をもって経験すると、復学後に取り組んだのがボランティアセンター（WAVOC）でのボランティア活動だった。発展途上国のことも知らないと、本当に世界を見たことにはならないと思ったからだ。

「3年生の夏休みに、WAVOCのプロジェクトでフィリピンを訪問し、向学心や勤労意欲にあふれているのに、機会に恵まれないたくさんのお子様や若者と出会いました。それがきっかけで、彼らのような人たちの役に立つ仕事ができればいいなと、漠然と考えるようになったのです」

就職活動中にJICAの募集要項を目にした大間さんは、英語を使う国際支援という仕事内容と海外勤務ができることを知り、これこそ自分の希望にぴったりの仕事だと直感した。そのJICAに入構して、まもなく5年。初の海外赴任に飛び立つ日も遠くない。

「学生時代を振り返って一番よかったのは、ワーキングホリデーやWAVOCなどの活動を通じて、多様な価値観をもつ多くの人たちと出会えたこと。授業についても、学部にしばられない全学オープン科目をたくさん履修し、視野を広げることができました」

こうした経験のすべてが、大間さんの「今」につながっている。



大間さんが描くみらい設計

いつか日本にも貢献したい

数ヶ月に一度は海外出張がありますが、どの地域へ行っても日本に関する質問をたくさん聞かれます。自分なりに日本のことを説明しているうちに、「やっぱり日本っていいな」という気持ちが強くなります。仕事で得た経験や知識を生かし、地域活性化や過疎の問題など、いつの日か、日本国内の課題解決にも関わられるようになりたいですね。

独立行政法人国際協力機構

大間瑛利子さん

2011年 人間科学部卒業

早稲田で見つけた成長の場所

ICC学生スタッフリーダー

国際コミュニティセンター（ICC） ➡ P7

早稲田の異文化交流拠点であるICC。その活動の核となるのが学生スタッフリーダーだ。岸田さんは「問題意識をもち、真剣に意見をぶつけ合う仲間とともに自分を高めていった」と話す。自ら考え、他者の意見を聞き、多様な価値観が交錯する異文化交流イベントを作り上げていく。その体験の積み重ねが、学生スタッフリーダーの成長につながっている。

早稲田で見つけた成長の場所

WAVOC公認プロジェクト

ボランティアセンター（WAVOC） ➡ P10

「コミュニティ・エイズ・プロジェクト」に参加し、3年生の夏休みにフィリピンを訪れた大間さん。現地の大学生と一緒に貧困問題について取材し、ドキュメンタリー映画の制作を経験した。WAVOCでは環境、農業、教育、人権、交流、地域づくりをキーワードに、学生が主体的に企画したボランティアプロジェクトを国内外で多数展開している。



豊田さんが描くみらい設計

取材相手に寄り添う記事を書きたい

がんを患い闘病中の方に取材したことがあります。「記事を見た友人から『まだまだ長生きせんといかんよ』と言われて力がわいた」と教えてくださって、心からうれしく思いました。つらかった経験でも話してよかったと思ってもらえるような、そんな記事を書いていきたいですね。地道に取材相手のところに通って、真摯に耳を傾けたいと思います。

株式会社愛媛新聞社

豊田さやかさん

2012年 文学部卒業

07 マスコミ(Uターン)

「伝えることについて 貪欲になるきっかけを 与えてくれました」

豊田さやかさんが新聞記者という職業を意識したのは、中学生の時のこと。夏休みの自由研究が入賞し、地元の地方紙・愛媛新聞の記者に取材してもらう機会があった。記事が掲載されると周囲で予想以上の反響があり、「自分のつたない話を的確にまとめてくれた」記者に、憧れを抱くようになった。

その思いを実現させる原動力となったのは、学生時代の課外活動だ。「できる限りのことをやってみよう」とまず始めたのは、障がい学生支援室のボランティア。聴覚障がい学生に授業内容を文字にして伝えるノートテイクなどの支援をするものだ。「どうやったら、より多くの情報を保障できるのか、支援を利用する学生に話を聞きながら模索しました。仲良くなってくると心の距離が縮まり、『支援』ではなく相手に『伝えたい』という思いが強くなっていきました」。

学内を案内するキャンパスツアーガイドにも挑戦した。受験生や修学旅行生、PTA団体など、相手に合わせて話の内容をアレンジする。「一方的に発信するのではなく、相手が求めるものを聞く姿勢が大切だと学んだ」と話す豊田さん。これらの活動は、「伝える」ことに貪欲になるきっかけを与えてくれたと振り返る。

3年生の夏には、大学公認のインターンシッププログラムWINを活用して高知新聞社での就業を体験。自ら町に出て記事になるネタを探し、観光ボランティアへのインタビューに成功。実際に記事が掲載された時の感動は、今も鮮明に覚えている。

そんな豊田さんは現在、奇しくも自分が取材を受けた愛媛新聞の記者として東奔西走の毎日だ。豊田さんが光を当てる対象は、難聴でありながら言語聴覚士として活躍する女性や、聴覚障がい学生の支援に奮闘する学生など、早稲田での挑戦が生かされていることも少なくない。「学生時代に真剣に打ち込んだ経験は、どんな仕事にもプラスになると思います。特に低学年で始めれば長く継続することができ。それは、何ものにも代え難い財産となるはずです」。

08 情報・通信

「人と関わる経験は 仕事を進めるうえで 必ず役に立ちます」

「ひとつの分野を極め、その知識や技術を多くの人に喜んでもらうため、世の中が便利になるために役立てたい」と話す井沢祐介さん。学生時代は情報数理応用を専門とする後藤正幸教授のもとでデータ解析を学び、現在は野村総合研究所で、金融系システムの管理に携わるシステムエンジニアとして活躍している。「研究に向き合うことで身につけた姿勢が、今の仕事に生かされています」。

近年、ビッグデータなどのキーワードで注目を浴びるデータ解析の分野。井沢さんは、インターネットの通信販売サイトにおける購買行動を研究テーマに選び、大学院生の時にはタイや中国での国際会議で発表を行った。修士論文の内容は経営情報学会誌の査読を経て、論文採録されている。「自分の研究を公の場に残しておきたいという気持ちがあったので、その点では目標を達成できたと思います」。

学会の発表や論文の執筆は英語で行うことも。日頃から英語の論文を読むことや、同じ研究室の留学生と交流することで英語力を鍛えると同時に、ライティング・センターのアカデミックライティング個別指導を活用して、論文をブラッシュアップしていったそう。

研究に力を注ぐ生活のなかで趣味としていたのが「食べ歩き」。有名店から知る人ぞ知る穴場まで、年間200店以上を食べ歩いていたという。また、苦手意識のあったコミュニケーション力を高めるため、あえて接客のアルバイトに挑戦。カフェやレストランでのアルバイトを長期間続けた経験は、学生時代のよき思い出のひとつであるとともに、社会人となった今も大いに役立っている。

「大学では、一人でじっくり研究に取り組むことが多かったのですが、社会に出ると、さまざまな人と連携を取り、チームとして仕事をすることが求められます。そこでは、常に自分から主体的に働きかけることが必要となる。私の場合、アルバイトで接客を学んだ経験が特に役立っていると感じます。理系の学生には、学生時代にできるだけ多くの人と関わる機会をもつことをお勧めしたいですね」



井沢さんが描くみらい設計

業界の標準システムを作りたい

現在はシステム管理部門の一員として成果を挙げることが自分の役割ですが、いずれチームを率いる立場となって、他の関係部門と交渉し、マネジメントできるようになりたいと思っています。夢は業界の標準となるようなシステムを作ること。自分の作ったシステムで世界中の人が喜んでくれるようになったら、こんなにうれしいことはないですね。

株式会社野村総合研究所

井沢祐介さん

2011年 創造理工学部卒業

2013年 創造理工学研究科修士

早稲田で見つけた成長の場所

障がい学生支援活動

障がい学生支援室 → P13

豊田さんが1年生の秋から卒業まで続けたのが、障がい学生支援。聴覚障がい学生の授業理解を支援するノートテイクは、座学だけでなくゼミや体育などでも必要となる。よりよい方法を求めて、障がい学生支援室のスタッフに相談しながら工夫を重ねていったそう。支援室では、支援技術を身につけるための講座を実施し、支援学生の募集・養成を行っている。

早稲田で見つけた成長の場所

全学オープン科目

グローバルエデュケーションセンター → P6

所属の学部や学年、専攻分野を問わず、全学生が履修できる全学オープン科目は3,000を超える。井沢さんは「自分の専門とは異なる分野も学んでみたい」と、心理学を履修。それはとても刺激的な学びの体験だったと振り返る。文系・理系それぞれの学生と一緒に学べ、協定大学の科目を履修することも可能。多角的な視野を養うことができるのが魅力だ。



福田さんが描くみらい設計

公私ともに、社会に貢献できるような人間に

仕事では、常に自分が果たすべき役割に全力投球し、その成果を社会へ還元できるような働き方をしたいです。今後、さまざまな場面で活躍し、社会貢献することを通じて、自分に自信をもって「輝いている」と感じられるように生きていきたい。そして、そうした姿を目にした方に、夢や希望を与えることができれば、これほど素晴らしいことはないですね。

財務省財務局

福田久美子 さん

2012年 商学部卒業

09 公務員

「国家公務員への夢を 決定づけたのは インターンシップでした」

幼少時代から、仲間と協力しながら物事を進めたり、人前でリーダーシップを発揮したりすることが好きだったという福田久美子さん。将来の進路を公務員へと定める契機となったのがインターンシップだった。「友人からインターンシップではとても貴重な経験ができると聞き、説明会に参加しました。その当時は、企業で働く人たちが何を考え、どのように仕事を進めているのかについて興味があり、はじめは民間企業でのインターンシップを選びました」。

就業した企業では、実習中の「お客さん」としてではなく、同じ職場で働く仲間の一人として受け入れてもらい、周囲と協力して仕事に取り組むことの楽しさを感じた福田さんは、2年生になると、大学公認プログラムWINの行政コースに参加。杉並区役所での就業体験を通じて、行政官の仕事に強い興味を抱くようになったという。

その後、国家公務員を意識しはじめると、翌春にはキャリアセンターの提携プログラムで、文部科学省へのインターンシップも経験。「中央省庁の雰囲気を知ることができればいいと思って参加したのですが、思いがけず、とある分科会関係のヒアリングに同行させていただいたり、職員の方々から、『国家公務員として働くこと』に対する価値観や考え方を学ばせてもらったり、話を聞けば聞くほど、胸が高鳴りました。また、志をともにする友人もできて、国家公務員を目指すモチベーションがさらに高まりました」。

一方、所属していた登山サークルでは、日本アルプスをはじめとするさまざまな山に挑戦したという。「サークルで出会った仲間たちとの思い出は、学生生活における一番大切で、かけがえのないものになっています。登山によって、かなり体力もつきましたね」。

入省3年目に大阪へと赴任し、現在は近畿財務局の金融証券検査官として働く福田さん。「仕事はとてもやりがいがあり、楽しいです。いつも見守ってくださっている上司や同僚、そして家族への感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張ります」と微笑んだ。

10 教員

「生徒に伝えたいのは 数学の魅力と 学ぶことの楽しさです」

坂口瑠理さんは、大学卒業と同時に教師になり、神奈川の県立高校で数学を教えている。教師を志した原点は中学時代にさかのぼる。お世話になった先生たちの生徒に対する真摯な姿に触発され、大好きな数学を学んで教師になることが坂口さんの夢となった。

その夢を実現すべく早稲田に入学すると、まず驚かされたのは、数学に実験を取り入れていることだった。例えば、雪の結晶ができる過程を通じて、フラクタルという幾何学の概念を学ぶ。理論と実際の現象との関係がよくわかり、数学のおもしろさを再認識した。

学部の授業に加え、1年生から教職課程も履修していたため、学生生活は忙しく、夜9時頃まで授業を受ける日も少なくなかった。3年生になると教員就職指導室にも足を運んだ。校長経験を有し、教育現場を熟知した教員就職アドバイザーによる、教員採用試験に向けたサポートが受けられるのだ。坂口さんは論文について何度もアドバイスをもらうことで、自分の考えを固めることができた。

一方、高校とはまるで違う大学での学び方に、勉強に対する固定観念が一気に覆された。「学ばなくてはならないことも、調べなくてはならない資料も、あまりにも膨大なことに、まず圧倒されました。人生で初めて勉強がわからないことに焦り、大きな挫折感も味わいました。しかも最初の授業で先生が、『教科書に書いてあることが本当かどうかはわからないよ』とおっしゃるのですから、まさに革命的なショックでした（笑）」。

教科書が正しいとは限らない。人に聞けば正解がわかるとも限らない。だから自分でたくさんの資料にあたり、自分の頭で考えなくては勉強にならないのだと、坂口さんは身に染みて理解した。

「それはとても貴重な教訓でした。学ぶことの真の意味や難しさを、あの時に理解したからこそ、生徒の気持ちに寄り添えるようになったのだと思います。教師となった今、こうした経験を生徒たちにも熱く語っています」



坂口さんが描くみらい設計

実体験から学んだことを伝えたい

東日本大震災の被災地支援ボランティアに参加した時のことです。自宅の壁に残された津波の痕跡を、あえて保存して子孫に伝えたいと語る被災地の方と出会って、深く考えさせられました。人生に困難はつきものですが、私も常に現実としっかり向き合い、自らの実体験から学んだことを生徒に伝えていける教師でありたいと思っています。

神奈川県立保土ケ谷高等学校

坂口瑠理 さん

2012年 基幹理工学部卒業

早稲田で見つけた成長の場所

インターンシップ・プログラム

キャリアセンターほか ➡ P11

WIN行政コースで杉並区役所に就業した福田さんは、区長案件に関するシンポジウムの開催や区民アンケートをとりまとめる仕事を体験した。公認プログラムWINは、事前事後の授業を組み合わせることで高い教育的効果が期待できるプログラム。行政コースのほかに国際協力、マスメディア、ビジネスの各コースが用意されている。

早稲田で見つけた成長の場所

教員就職支援

教員就職指導室 ➡ P11

坂口さんが利用した教員就職指導室は、教員志望の学生を支援するために設立され、教員就職に関する情報提供、教員採用試験の受験対策指導などを行っている。教員採用試験の問題集や情報誌などの閲覧コーナー、教員の求人や教育ボランティア募集などの掲示板も設置。教員就職アドバイザーの存在は、利用する学生の心の支えとなっている。

必ず見つかる「成長の場所」

学内プログラム一覧

※区分は以下の略です。

学び = 学びを深めたい **世界** = 世界を知りたい **社会** = 社会と関わりたい **仲間** = 仲間をつくりたい

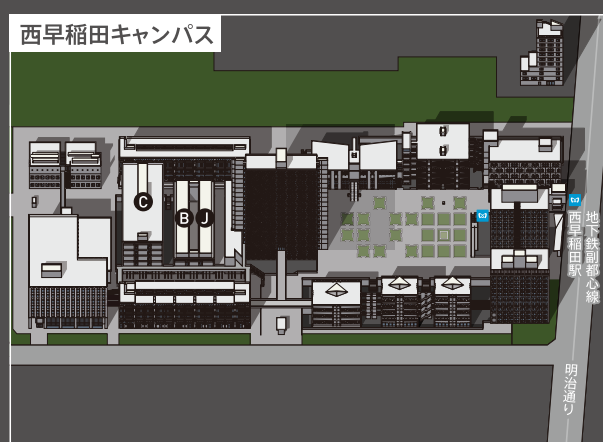
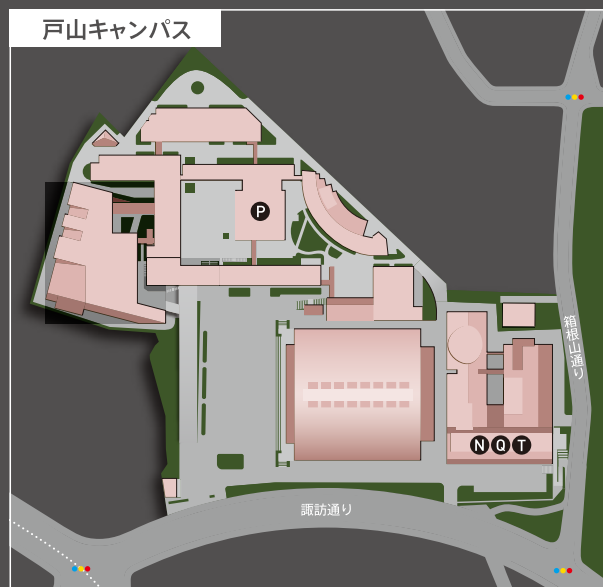
区分	プログラム名	主催箇所	MAP	実施期間	参加方法	単位	内容
学び	留学準備講座	留学センター	E	短期	事前申込	なし	「留学ー日体験プログラム」や「アカデミック英語講座」など、充実した留学生活を送るための準備プログラムです。
	ICC学生スタッフリーダー	国際コミュニティセンター (ICC)	F	長期	公募	なし	異文化交流イベントを自ら企画・運営し、参加学生や関係者のまとめ役としてICCの活動をリードします。
	Social Intelligence (SI) プログラム	レジデンスセンター	N	単発	その他	なし	国際学生寮 WISH の寮生を対象に、大学の正課で得た知識・能力を最大限に活用するための訓練を行います。
	ものづくり体験	WASEDAものづくり工房	C	短期 / 長期	随時	なし	充実した設備と常駐の技術スタッフを備え、自分のアイデアをカタチに転換する「ものづくり」に挑戦できます。
	図書館ボランティアスタッフ LIVS	図書館	D	長期	公募	なし	大学図書館の公式ボランティアスタッフとして、学生目線で図書館サービスの向上やイベント企画・運営に取り組みます。
	全学共通副専攻	グローバルエデュケーションセンター	A	長期	科目登録	あり	幅広い領域から29の副専攻を提供。興味のある学問分野を体系的に学ぶことができ、卒業時には修了証明書も発行されます。
	My Vision Program	グローバルエデュケーションセンター	A	長期	事前申込	なし	「論理的思考力」「問題解決能力」「コミュニケーション能力」など卒業後に社会で役立つ実践力を養うための講座です。
	早稲田アスリートプログラム (WAP)	競技スポーツセンター	P	長期	その他	なし	学生アスリートが優れた競技成績を収めるとともに、学業や社会貢献活動にも打ち込める環境を提供するプログラムです。
	WASEDA式アカデミックリテラシー	グローバルエデュケーションセンター	A	長期	科目登録	あり	早大生に必須の「アカデミックライティング」「数学」「統計」「情報」「英語」の5分野を強化できる全学オープン科目です。
	他大学提供科目	グローバルエデュケーションセンター	A	長期	科目登録	あり	単位互換協定を結んでいる他大学からの提供科目として、美術系や医学系など特色あふれる科目を履修することができます。
	学部学生交流制度 (国内交換留学)	グローバルエデュケーションセンター	A	長期	公募	一部あり	同志社大学に学部交流学生として国内留学できる制度。履修した科目の一部は、所属学部で単位認定することも可能です。
	学外連携プログラム	グローバルエデュケーションセンター	A	長期	事前申込	なし	学外機関の知己を活用して学ぶプログラム。専門家による連続講義「生活の安全を科学する」などを開講しています。
	アカデミックライティング個別指導	ライティング・センター	B	単発	事前申込	なし	論文やレポートなどの書き方に行き詰ったときの強い味方です。日本語と英語の文章に対応でき、専門的な助言が得られます。
	「体験の言語化」シリーズ科目	ボランティアセンター (WAVOC) グローバルエデュケーションセンター	G A	長期	科目登録	あり	自らの体験を振り返り、今後の学生生活の充実につなげていく科目です。体験を通じて考えたことを言葉で表現します。
	エクステンションセンター学生支援講座	エクステンションセンター	H	短期 / 長期	事前申込	なし	早大生向けに資格取得や進路選択に役立つさまざまな講座を開講。将来の目標を見据えた学びを深めることができます。
世界	外国語ランチ	国際コミュニティセンター (ICC)	F	単発	当日先着	なし	イングリッシュランチ、コリアンランチ、スパニッシュランチなど、ランチを食べながら外国語会話を楽しめます。
	外国語チャット・カフェ	国際コミュニティセンター (ICC)	F	単発	当日先着	なし	当該言語を母語とする学生がコーディネートするカフェ形式の交流イベント。気軽に外国語を話すチャンスです。
	にほんごベラベラクラブ	国際コミュニティセンター (ICC)	F	短期	事前申込	なし	外国人学生が日本語会話を楽しむイベントを日本語を母語とする学生がサポート。異文化交流の本質を学ぶことができます。
	ICCトーク・セッション	国際コミュニティセンター (ICC)	F	単発	当日先着	なし	学内外からの講師によるグローバル・ローカルなテーマの公開講演会。起業家やパイロットなど多彩なゲストが魅力です。
	ICCビジター・セッション	国際コミュニティセンター (ICC)	F	単発	事前申込	なし	海外の大学からの訪問学生たちと、カジュアルなトピックやアカデミックなテーマでディスカッションを行います。
	ホンネ交流キャンプ	国際コミュニティセンター (ICC)	F	短期	事前申込	なし	日本、中国、韓国出身の早大生が、領土・歴史問題を含め、お互いの国や文化について本音で語り合う2泊3日の合宿です。
	ノーボーダー・キャンプ	国際コミュニティセンター (ICC)	F	短期	事前申込	なし	スキー・スノーボードを楽しみながら、お互いの本名・国籍・年齢などを隠したなかでの異文化交流を体験する合宿です。
	RA (レジデント・アシスタント)	レジデンスセンター	N	長期	公募	なし	寮生活を送る学生たちの日々の生活をサポート。世界各地から集い、多様な価値観をもつ寮生たちとの触れ合いが魅力です。
	グローバル・リーダーシップ・フェローズ・プログラム	留学センター	E	長期	公募	あり	米国名門大学と連携した4年間の少人数制カリキュラム。今後の国際社会を牽引するリーダーシップを身につけます。
	海外留学プログラム (短期)	留学センター	E	短期 / 長期	公募	一部あり	1～7週間の短期留学プログラム。短期間なので参加しやすく、語学研修を中心に多彩な学び方が用意されています。
	海外留学プログラム (長期)	留学センター	E	長期	公募	一部あり	半年から1年間、海外の協定大学でじっくり学べる留学プログラム。レベルや目的に応じて自分に合ったものを選べます。

【実施期間について】

- ・単発：1日完結型のプログラム (関連するテーマを複数回にわたって実施する連続プログラムや同一形式のものを繰り返し実施するプログラムを含む)
- ・短期：数日～数週間にわたる継続参加プログラム
- ・長期：1ヶ月以上にわたる継続参加プログラム

区分	プログラム名	主催箇所	MAP	実施期間	参加方法	単位	内容
世界	ランゲージ&カルチャー・エキステンジ・プログラム	国際コミュニティセンター (ICC)	F	長期	事前申込	なし	国籍の異なる学生がベアあるいは3人以上のグループを組み、お互いの言語や文化を教え合う相互学習プログラムです。
	外国語科目	グローバルエデュケーションセンター	A	長期	科目登録	あり	ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語だけでなく、アイヌ語、スワヒリ語、バスク語など20を超える言語を学べます。
社会	tsunagaruプログラム	社会連携推進室	M	短期	事前申込	なし	さまざまな分野やシーンにおいて、社会で頑張っている人生の先輩たちの、仕事や生活に触れ、生の声を聞くプログラムです。
	プロフェッショナルズ・ワークショップ	早稲田ポータルオフィス グローバルエデュケーションセンター	I A	長期	公募 / 科目登録	一部あり	企業・自治体などが実際に抱える問題について問題解決に取り組み、解決策を提案する実践型の産学連携プログラムです。
	ビジネススタートアップセミナー	インキュベーション推進室	K	短期	事前申込	なし	起業家などを講師に招き、ビジネスに必要なテーマについて学べる連続セミナー。交流会での情報交換も活発です。
	アプリケーションコンテスト	インキュベーション推進室	K	短期	公募	なし	与えられたテーマに沿って新しいサービス、アプリケーションを企画・提案するコンテスト。起業家の講演も開催します。
	ビジネスプランコンテスト	インキュベーション推進室	K	短期	公募	なし	自由な発想でビジネスプランを作成。選出されたプランはコンサルタントの指導を受け、プレゼンテーションに臨みます。
	インターンシップ・プログラム	キャリアセンター、留学センターほか	T E	短期	公募	一部あり	事前事後の授業とセットの大学公認プログラムWINのほか、海外でのインターンシップなども数多く実施しています。
	アウトリーチ・プログラム	国際コミュニティセンター (ICC)	F	短期	事前申込	なし	外国人学生と日本人学生がベアを組み、地域の学校の教育現場を訪れて異文化理解授業を行うプログラムです。
	トーク&ビジット・プログラム	国際コミュニティセンター (ICC)	F	単発 / 短期	事前申込	なし	さまざまな社会問題をテーマに、頭で考える講義と体で感じる現場見学のセットで学べるプログラムです。
	地域連携お掃除プロジェクト	国際コミュニティセンター (ICC)	F	単発	事前申込	なし	高田馬場駅前から早稲田通りを中心とした商店街の清掃活動を通じて、近隣の人々と交流し、地域に貢献する活動です。
	文化推進学生アドバイザー	文化企画課	R	長期	公募	なし	学生が主体となり「早稲田文化」を新たな目線から考察し、文化推進事業を企画・立案する活動を展開しています。
	キャンパスツアーガイド	広報課	S	長期	公募	なし	早稲田の歴史やキャンパスの見どころを、自らのエピソードを交えて個性豊かに紹介。早稲田の顔として活躍します。
	災害・復興等支援ボランティア活動	ボランティアセンター (WAVOC)	G	短期	事前申込	なし	東日本大震災や広島土砂災害など災害に遭った現場を訪れ、地域住民とともに活動する支援ボランティアを派遣しています。
仲間	WAVOCスタディツアー	ボランティアセンター (WAVOC)	G	短期	公募	なし	国内外で実施されているさまざまなボランティアの現場を訪れ、地域住民と交流を図りながら、社会の課題に向き合います。
	WAVOC公認プロジェクト	ボランティアセンター (WAVOC)	G	長期	公募	なし	農業・教育などの分野において、学生主体のボランティア活動をWAVOCが公認。現在は27のプロジェクトが進行中です。
	ワークライフバランス関連講座	男女共同参画推進室	J	単発	事前申込	なし	学業や仕事と、結婚、出産、育児、介護などのライフイベントとの両立を支援するためのイベントが充実しています。
	教員就職指導	教員就職指導室	L	単発	随時	なし	論文・面接指導や模擬授業対策など教員就職をサポート。校長経験のある教員就職アドバイザーが個別相談にも応じます。
	fumidasuワークショップ	社会連携推進室	M	短期	事前申込	なし	学生生活にモヤモヤを抱える学生同士が集まり、本音で語り合うことで、「はじめての一步」を踏み出すきっかけを見つめます。
	こうはいナビ	早稲田ポータルオフィス	I	長期	公募	なし	学生主体の新入生応援プロジェクト。科目登録相談や教室案内、ブログでの情報発信などで新入生をサポートします。
	体育祭	学生生活課	Q	単発	事前申込	なし	フットサル、ソフトボールなど約15種目を各キャンパスで実施。学生スタッフとしてイベント運営に関わることも可能です。
	サークル活動	学生生活課	Q	長期	その他	なし	大学公認のサークルはおよそ570。文化系からスポーツ、芸術系まで早稲田ならではの個性豊かな団体がそろっています。
	障がい学生支援活動	障がい学生支援室	O	長期	公募	なし	障がいのある学生の修学を支援するボランティア活動。バリアフリーマップの作成や交流会の開催にも関わります。
	夢中になれることが見つかるセミナー	キャリアセンター	T	単発	事前申込	なし	先輩たちが「夢中になれること」を見つけた体験談から、学生生活の過ごし方を考え、行動を起こすきっかけをつくります。
	学生キャリア・アドバイザー	キャリアセンター	T	長期	公募	なし	就職活動を終えた学生が、自身の体験を後輩たちのために役立てます。個別相談に応じるほか、就活生応援イベントも実施。
	ICCイベントサポーター	国際コミュニティセンター (ICC)	F	短期	公募	なし	異文化交流イベントのボランティアとして企画運営をサポート。自分の企画案を持ちこみ、実現することも可能です。

WASEDAものづくり工房・利用推進プロジェクト	WASEDAものづくり工房	C	長期	公募	なし	ものづくり工房の効果的な活用方法を考える学生参加型プロジェクト。工房の利用促進につながる企画を実現しています。
部活動 (体育各部)	競技スポーツセンター	P	長期	その他	一部あり	44の体育各部が活動。競技に打ち込むだけでなく、社会性と豊かな人間性を備えた人格形成を目指しています。
学生留学アドバイザー	留学センター	E	長期	公募	なし	留学センターのプログラムで海外へ留学した学生が、自身の留学体験をふまえた情報を留学希望者向けに発信します。



A グローバルエデュケーションセンター
<http://www.waseda.jp/gec/>
 早稲田キャンパス 7号館 1階 (早稲田ポータルオフィス)

B ライティング・センター
<http://www.cie-waseda.jp/awp/jp/wc/>
 早稲田キャンパス 3号館 2階
 西早稲田キャンパス 60号館 2階 (分室)
 所沢キャンパス 100号館 4階 所沢図書館 (分室)
 TWInsキャンパス 50号館 2階 (分室)

C WASEDA ものづくり工房
<http://www.koubou.sci.waseda.ac.jp/>
 西早稲田キャンパス 61号館 1階

D 図書館
<http://www.wul.waseda.ac.jp/index-j.html>
 早稲田キャンパス 18号館 (中央図書館) ほか

E 留学センター
<http://www.cie-waseda.jp/jp/>
 早稲田キャンパス 22号館 1階・4階

F 国際コミュニティセンター (ICC)
<http://www.waseda-icc.jp/>
 早稲田キャンパス 3号館 1階

G 平山郁夫記念ボランティアセンター (WAVOC)
<http://www.waseda.jp/wavoc/>
 早稲田キャンパス 99号館STEP21 2階

H エクステンションセンター
<http://www.ex-waseda.jp/>
 早稲田キャンパス 23号館 1階

I 早稲田ポータルオフィス
<http://www.waseda.jp/wpo/>
 早稲田キャンパス 7号館 1階

J 男女共同参画推進室 (ワークライフバランス・サポートセンター)
<http://www.waseda.jp/sankaku/>
 早稲田キャンパス 10号館 2階
 西早稲田キャンパス 60号館 2階

K インキュベーション推進室
<http://www.waseda.jp/rps/incubation/>
 早稲田キャンパス 19-3号館 1階

L 教員就職指導室
<http://web.edu.waseda.ac.jp/tep/kyujin/#b01>
 早稲田キャンパス 14号館 2階

M 社会連携推進室
<http://waseda-sr.jp/>
 早稲田キャンパス 大隈会館 3階

N レジデンスセンター
<http://www.waseda.jp/r/c/>
 戸山キャンパス 学生会館 1階
 中野国際コミュニティプラザ 2階 (分室)

O 障がい学生支援室
<http://www.waseda.jp/student/shienshitsu/>
 早稲田キャンパス 3号館 1階

P 競技スポーツセンター
<http://waseda-sports.jp/>
 戸山キャンパス 33号館 1階

Q 学生生活課
<http://www.waseda.jp/student/>
 戸山キャンパス 学生会館 1階

R 文化企画課
<http://www.wasedabunka.jp/>
 早稲田キャンパス 26号館 2階

S インフォメーションスクエア (広報課運営)
<http://www.waseda.jp/top/about/work/campus-tours/>
 早稲田キャンパス 27号館 1階

T キャリアセンター
<http://www.waseda.jp/career/>
 戸山キャンパス 学生会館 3階

TEL
 03-3203-4332

e-mail
career@list.waseda.jp

開室時間
 平 日 9:00~18:00 (相談受付9:00~17:00)
 土曜日 9:00~17:00 (相談受付9:00~16:00)

※授業休止期間中の開室時間は、
 キャリアセンターホームページで確認してください。